



中里北部地区社協だより

第三回福祉まつり



開催について



中里北部地区にお住まいの皆様には、常日頃、社会福祉協議会の活動には、ご理解を頂き、ご支援とご協力を賜り誠に有難う御座います。心から御礼申し上げますと共に、これからもよろしくお願い申し上げます。

さて、当中里北部地区社会福祉協議会が、春期に始めた「福祉まつり」も、今年で「第三回」になります。皆様のお陰を持ちまして毎回盛大になっております。今年も、次の様な予定で実施したいと思って準備を進めております。

どうか、今迄以上に盛り上げたいと思っておりますので、ご支援ご協力下さいます様に、よろしくお願い申し上げます。

開催日時 平成11年4月29日
午前10時～午後3時

開催場所 鴨志田第一小学校
体育館・校庭及び
鴨志田コミュニティハウス
研修室・和室

開催内容

- ◎ バザー
- ◎ 体力測定
- ◎ 演芸
- ◎ 福引き



※ プログラム等については、後日、皆様のところにお配り致しますのでよろしくお願い致します。

大勢の方達のご来場をお待ち申し上げます。

♥ 献品のお願い

皆様の拠出された献品による「バザー」の、収益金によりまして、お陰様で当社協の運営も、序々に充実して参りました。福祉の活動は地味な目立たない奉仕活動かと思いますが、博愛精神で大変熱心な方々も沢山おられます。

どうか広い心を持ってご理解ご賢察下さいまして、一戸一品の献品運動にはぜひご賛同ご参加下さいます様をお願い申し上げます。

各自治会・町内会の役員の皆様のご奉仕に拠りまして下記の通り献品をお願い致しますので、よろしくお願い申し上げます。



記



☆ 献品品目 日用品・雑貨・その他
ご家庭で眠って居る物
(ただし、生鮮品・古着等は、
ご遠慮願います)

☆ 収集月日 平成 1 1 年 4 月 1 4 日
までに
「献品して下さる物品を
出して下さい」



(収集場所等は、各自治会・
町内会の役員に聞いて下さい)

人 生 格 言

- * お前はお前で 丁度よい 顔も身体も名前も姓も それはお前に丁度よい
- * 貧しさも豊かさも 親も子も息子の嫁もその孫も それはお前に丁度よい
- * 幸も不幸も喜びも 悲しささえも それはお前に丁度よい
- * 歩いたお前の人生は 悪くもなければ善くもない お前にとって丁度よい
- * 自惚れる要もなく卑下する要もなく 上もなければ下もない
- 死ぬる月日さえ それはお前に丁度よい
- * 地獄へ逝こうと極楽へ行こうと 行ったところが それはお前に丁度よい
- * 夫婦づれの人生が良くない筈がない これで良かったと
- それはお前に丁度よい

末期患者の在宅介護

たちばな台一丁目 川上 浩

昨年暮、趣味を通して知り合った人から一冊の本が贈られてきた。

それは、実の母親より長い歳月を共に生きてきたお姑さんで肉親以上の親しさを持つ家族となって幸せに過ごしてきたのに、突然に起こった事実に基づいて書かれた本でした。

それは、お姑さんが定期検診を受けたところ、卵巣ガンの疑いがあるから、精密検査を受ける様にと言われて、精密検査した結果正しくガンであると（家族に）宣告を受ける。

直ちに手術が出来るかどうかを見究めるための入院をしたが、以前からの病気（高血圧症等）があるのと癒る見込みは無いと診断される。

この様な場合は入院の継続は出来ない事になっていた。

それから在宅介護の療養生活を始めることになった。

自宅に引き取ったけれど家庭が病棟となったが、それに対する心掛け等一切なく、又、病状に適した介護の知識や仕方を勉強することが、突然降って沸いた様に出現した。

昨日まで、この様なことになることは予想だにしていなかったことへの混乱。

直接、介護に当たるご本人の心の不安。

ただ、助けとなったことは、退院時の医師の、



ホームヘルパー訪問の機関である、「ケアプラザ」の紹介だった。

地域に設けられている「ケアプラザ」という機関のあることを知っておく、予備知識をもつ必要のあることをこの本を読むまでは、全く知らなかった私でした。

他人事ではないことを実感した次第です。

その境遇なり、又、家族の内の誰かが医者に見放されての、不治の難病に罹ってみなければ気付くことの無いことなのでした。

現在40代50代の働き盛りの方達、又は65歳以上の高齢期に入る方々にとっても、無関心では居られないことを合わせて実感させられた次第です。



集めていますご協力下さい

◎ 使用済みテレホンカード

☆ お近くの民生委員まで

◎ 古切手

封筒（葉書）ごと切手の周囲を5mm位残して切り取ってお持ち下さい。



お集まり下さい

◎ ふれあい中里北部

4月6日に、お花見をします。

皆さんお誘い合わせて来て下さい。

詳しくは回覧をご覧のうえ、申し込みして下さい。

お待ちしております。



◎ すこやかお食事会

3月26日

に、行います。担当の民生委員さんから、お誘いがありますから、出来るだけ参加して下さい。

お待ちしております。



♥ 編集者募集

この「社協だより」の編集者を募集しております。全てお任せでも、お手伝いでも、結構です。

ご連絡をお待ちしております。

(☎ 962-4625 大橋まで)



♥ 記事等募集

社協のこと、地域のこと、行事、詩、俳句、川柳、その他どの様な事でも、社協だよりにふさわしい記事を募集します。

紙面上の匿名はお受けしますが、投稿には、住所・氏名はお書き下さい。皆様の投稿をお待ちしております。

(たちばな台1-1-43 大橋 まで)

編集後記

♣ 月日のたつのは早いもので、福祉まつりを始めて今年は「第三回」あっという間に過ぎてしまった様な気がします。

♣ 今年も、皆様のご支援とご協力によりまして、今迄以上に盛大に福祉まつりが盛り上がりますことを祈っておる次第です。

♣ 今回は、たちばな台にお住まいの川上様から、在宅介護について、書いて下さいました。これから避けて通れない問題だと思います。

♣ 横浜市の、青葉区の、地域ケア等は、どうなっているのだろうか。もし、自分の身の周りで問題が起これたらどうだろうかな、と心配になるばかりです。

♣ 社協に関わっていて、この始末とは情けないことです。いかにボーと過ごしているかという事をはっきりして頂きました。介護保険も始まります。勉強する事ばかりです。

♣ 県・市・区等の広報や、各種のお知らせ等情報は一杯出ています。ろくに見ないでゴミにして仕舞わずおおいに活用しなくてはいけない事を教えて頂きました。

発行 中里北部地区社会福祉協議会

編集

”

広報部

金子 純・大橋 米福(責)(962-4625)